

2018年（平成30年）11月14日

輸送動向について（平成30年10月分）

1. 輸送概況

今月は、平成30年7月豪雨、台風24号・25号接近等の影響により、高速貨677本、専貨2本が運休となった（前年は、高速貨235本、専貨16本が運休）。平成30年7月豪雨の影響で不通となっていた山陽線は、10月13日に運転再開となり、復旧までの間はトラックによる代行輸送のほか伯備線・山陰線・山口線を経由した迂回運転を実施した。

コンテナは、中旬まで山陽線が不通であった影響によりすべての品目で前年を下回った。食料工業品は清涼飲料水の九州向けが減送し、化学薬品、化学工業品は中国・九州地区の工場との輸送が停滞したほか、積合せ貨物、自動車部品は九州発着が低調に推移した。その結果、コンテナ全体では前年比92.3%となった。

車扱は、石油が秋冬需要期に入ったことから好調な荷動きとなったほか、セメント・石灰石も供給先の需要が好調となったことから増送となった。その結果、車扱全体では前年比102.0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比94.9%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,811	1,963	92.3%	11,080	12,958	85.5%
車 扱	760	745	102.0%	4,736	4,707	100.6%
合 計	2,572	2,709	94.9%	15,815	17,666	89.5%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	226	233	-7	97.2%
	化学工業品	159	182	-23	87.2%
	化学薬品	110	130	-20	84.4%
	食料工業品	277	302	-25	91.9%
	紙・パルプ	247	253	-6	97.7%
	他工業品	123	135	-12	91.0%
	積合せ貨物	229	249	-20	92.1%
	自動車部品	62	74	-12	84.5%
	家電・情報機器	34	36	-2	94.3%
	エコ関連物資	39	40	-1	98.8%
	その他	304	330	-26	92.1%
	コンテナ計	1,811	1,963	-152	92.3%
車 扱	石油	499	478	21	104.4%
	セメント・石灰石	139	129	10	108.2%
	車 両	78	72	6	107.8%
	その他	44	66	-22	66.5%
	車 扱 計	760	745	15	102.0%
合 計	合 計	2,572	2,709	-137	94.9%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）